

「あらかわの心」ニュース

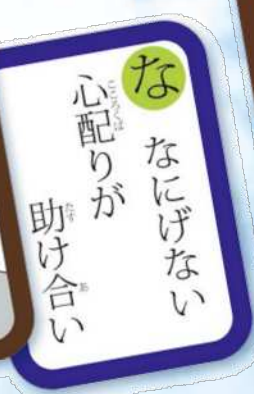


第6号 平成20年3月31日発行

【発行】「あらかわの心」推進運動区民委員会
【事務局】〒116-8501 荒川区荒川 2-2-3 荒川区子育て支援部児童青少年課内 TEL 3802-3111 内線 3833 FAX 3802-0809
【メールアドレス】 arakoko@city.arakawa.tokyo.jp 【ホームページアドレス】 http://www.arakawa-unet.jp/life/heart/index.html

「あらかわの心」カルタを作成しました

「あらかわの心」推進運動区民委員会では、平成19年度の目玉事業として「あらかわの心」カルタを作成しました。これは、皆さんから「あらかわの心」推進運動の主旨を表現したカルタの読み札を募集し、寄せられた作品の中から「あ〜」で始まる44文字を1つずつ選び、読み札に合った絵柄をつけて製作したものです。カルタのデザインは、都立荒川商業高等学校の生徒による模擬株式会社「レガロ工房」に依頼し、イメージを統一するためにキャラクターを考案していただきました。



区役所2階児童青少年課でカルタの販売をします（金額についてはお問合せください）。

- 「あらかわの心」カルタ 読み札採用 44作品**
- あ 荒川は 笑顔とあいさつ にあう町
 - い いいことは 進んでしよう 自分から
 - う うれしいね 今日元気 二あいさつ
 - え えんがわに 笑顔とひなたが ぼつかぼか
 - お おばあちゃん いっしょにわたろう 小さな手
 - か 会話から 生まれる友情 大切に
 - き 今日見たよ やさしく席を ゆずる人
 - く 草の葉の うらにもいるよ 小さな命
 - け 経験は 自分をのぼす 葉だよ
 - こ こみ・たばこ みんな歩いて いけないよ
 - さ さっそうと 背すじのばして 歩こうよ
 - し しかるより ほめる言葉の むずかしさ
 - ず 進んでやりませ おかたづけ
 - せ 生活のリズムは 「早ね 早起き 朝ごはん」
 - そ そうじをしよう きれいになるのは 心だよ
 - ち 大切な 命はぐくむ 地域の目
 - ち 知恵だして みんなで守る わが町荒川
 - つ つくろうよ 家庭で話す 家族の時間
 - て 手本になりませよ 大人のマナー
 - と 東京で 唯一残った 荒川線に乗ろう
 - な なにげない 心配りが 助け合い
 - に ニニコの 笑顔とあいさつ 心から
 - ぬ ぬくぬく ぼかぼか ふれあい入浴
 - ね ねるときは 「おやすみなさい」を 言うてから
 - の のんびりと 相談できる 「近所さん
 - ほ はじめてのおつかい うれしいお手伝い
 - ひ 一人では 危ないところ 行かないで
 - ふ ふれあいには 言葉と心の ネットワーク
 - へ 返事はいつも 聞こえるように 元気よく
 - ほ ほいしいものを がまんでませよ ぼくわたし
 - ま まちの中 めいわく駐輪 危ないよ
 - み 見守りは 進んでしよう 近所から
 - む 無理せずに 行う介護 助け合い
 - め 目上の人を うやまう態度 言葉から
 - も もったいない 日本にしかない よい言葉
 - や やさしさを 配ってこらん 楽しいよ
 - ゆ 勇気ある 注意の言葉 かっこいい
 - よ よい返事 する人聞か 笑顔がいつぱい
 - ら ラジオに合わせ、二、三 今日も朝から健康だ
 - り リサイクル すれば地球が 喜ぶよ
 - る るすばんは 戸じまり心に かぎかけて
 - れ 連帯感 あいさつきまりの 輪ができる
 - る 老人を 大切にすまら ステキだな
 - わ 私も あなたも ほこりを持った荒川の人

汐入小・三中合同 早朝地域清掃

2月15日(金)、汐入小学校児童と第三中学校生徒が、一緒に早朝地域清掃に取り組みました。子どもたちは各学校で集めた後、軍手、ビニール袋、清掃用具を手にして地域へ出発。汐入小学校や都立産業技術高等専門学校付近の歩道、都立汐入公園内、第三中学校から「はなみずき通り中央」のバス停までの歩道と、広範囲にまたがって清掃をしました。

第三中学校では毎週金曜日に「クリーニングプロジェクト(クリップ)」を行っています。今回から、汐入小学校も日



愛する心が育つことにつながると思います。町会でも7年前から毎月第3土曜日に環境衛生

時をあわせて一緒に行くことになりました。両校で進めている小中一貫教育の取り組みの一つでもあります。

この日参加したのは、児童42名、汐入小保護者7名、生徒70名、両校の教員25名、合計144名でした。リバーパーク汐入町会の萩原会長さんは、「小学生、中学生の時期は人格形成にとって大事な時期です。この時期での地域清掃は、近年失われている公德心涵養の実践的内容となるでしょう。再開発によって災害に強い町、整然と立ち並ぶ住宅街、広々とした道路、街路樹、ゴミのない町は、きっと地域を

こどもオリンピック開幕!

2月2日、生涯学習センターで「こどもオリンピック」が開催されました。これは、徒競争の途中に計算問題を解く「暗算徒競争」や、古タイヤを使った「タイヤ引きレース」など6種目で競われました。



▲カよりコツが大事「シャトルロングスロー」



▲高さも重要「スリッパとばし」



▲みんな夢中!「チョコQカーレース」

当日は、児童とスタッフを合わせて125名の参加がありました。とても寒い日ではありましたが、日頃学校ではやらない競技に、子どもたちは夢中になって楽しんでいました。(青少年対策荒川地区委員会)

部活動として道路清掃を行っています。小学生、中学生の清掃活動は地域が一体となつての活動となり、町民の環境意識、公德心を高める心を育てることとされています。」と話していました。(区立第三中学校)



楽しい! トリック・オア・トゥー・オア ハロウィンナイト

レインボー子ども会では、初の試みとして、昨年10月31日に「ハロウィンナイト」を開催しました。ハロウィンは、キリスト教の宗教行事である「万聖節」の前夜祭。収穫を祝い、亡くなった人の魂を迎え入れる行事で、日本ではお盆に例えられます。

子どもたちは、悪霊を追い払うために、魔女や妖精、おばけなどと思いの仮装をしてご近所を訪ね歩き、「トリック・オア・トリート! (お菓子くれなさいたずらするぞ!）」と掛け声をかけて供物(お菓子)をもらいます。

欧米のお祭りですが、こんなに子ども心をくすぐる面白い行事を黙ってみてはられないとばかりに、最近日本でも盛んに取り入れられるように



▲大人もわくわく

なりました。簡単。楽しい。ご近所とのふれあい。考えてみればみるほど、子ども会のイベントにぴったりの声です。声をかけてみると、園児から中学生まで、あつという間に20名以上の参加者が集まりました。手集まった子どもたちの華やかなこと。手持ったカゴいっぱい、キャンディーやチョコトレートのおひねりを貰って大満足で



▲道行く人から「かわいい!」の聲が

す。「来年もやりたい!」と好評でした。実は日本にも、「お月見どろぼう」というハロウィンに似た風習が各地にあるそうです。軒先に準備したお団子は多く盗まれたほうが縁起が良いとか。なんとも日本的な風情のある、粋な行事です。(レインボー子ども会)



▲魔女にかぼちゃに忍者。なんでもあり。

地球を守る区民会議」は、平成18年8月、区民の皆さんが環境への取り組みについて発表し、意見交換を行うために設置されました。現在、各団体などから289名の方が登録しています。区民会議はこれまで8回開催され、「大切にしている心」についての話し合いや環境行動計画の検討など、活発な議論を重ねています。(地球を守る区民会議実行委員会)

地球を守る区民会議

バルーンアートで遊ぼう! 第一回ファミリ体験活動

昨年10月13日(土)、尾久第六小学校の体育館で、バルーンアートを体験する催しが行われました。これは、尾久青少年団体連絡会が主催したイベントで、全国子ども会連合会から指導者を迎えて、細長い風船を使って様々なかたちをつくる指導をしていただきました。当日は135名の親子が参加し、犬や花など、創意工夫に満ちた作品を作っていました。(尾久青少年団体連絡会)



▲風船をひねるたびに形が変わっていきます



▲テーマソングを披露する「じゅげむ」の3人